

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

AAS関西（大阪・神戸・京都・金沢）

この解答例は、11月2日 17:00 現在のものです

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【平成30年度・第2次筆記試験】事例Ⅰ（組織・人事戦略）

この模範解答例は
AAS関西が作成しました

第1問（配点20点）

理由は、①生産や販売を他社に委託して戦力である技術者を大手には対応できない電子機器開発に集中できるため、②強みであるセンサー技術を応用した様々な開発にチャレンジでき時流を先読みした事業展開がし易いため。（100字）

第2問（配点40点）

（設問1）

理由は、①9割を占める技術者を結束できるので、高精度の企業向け製品開発に各専門性を発揮できるから、②地元出身の技術者が多いので、故郷の産業に役立つ製品開発を掲げることで一体感や使命感が醸成できるから。（100字）

（設問2）

違いは、①販売した時点で取引が完了する売切り型ではなく複写機用のトナーなど継続的に安定した収入源となる事業である、②受け身の製品開発ではなく情報通信技術の急速な進歩など時流を先読みし先進的な事業である。（100字）

第3問（配点20点）

目的は、①各部門を統括する部門長を役員が兼任することで社長から権限委譲を行い権限と責任を一致させる為、②専門知識別に部門化されていた技術者間の円滑なコミュニケーションを図り目標達成意欲を高揚させる為。（100字）

第4問（配点20点）

①チャレンジ精神を維持していくために、新規事業・新製品開発提案制度を整備し優秀提案者を責任者として推進させる。②独創性を維持していくために、地元農家への就業体験を制度化し異分野の新たな知識を学ばせる。（100字）

文責：AAS大阪・神戸代表 石原真一

＜メルマガ「AAS関西かわら版」に登録すると解説動画がご覧いただけます！＞

解説音声とともに、解答例作成にいたった思考手順を資料としてダウンロードすることができます。

AASの思考手順を12月16日（日）の口述試験対策としてご活用いただければ幸いです。

こちらのURLへ⇒ <https://www.aas-clover.com/kansai/sokuhou-2>